

三沢市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年11月～25年10月)

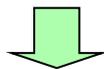
※ 期間延長適用後

【中心市街地を巡る状況】

○米軍三沢基地の建設とともに形成され、発展
→S48年の通貨変動相場制以降、米軍関係者の
基地外での消費減少

○地価が低廉なため、住宅立地が郊外化

○郊外や隣町に大型ショッピングセンターが立地



○中心市街地の人口減少

H8:8,414人 → H18:7,538人(△10.4%)

○歩行者通行量の減少

・平日 H6:11,407人 → H17:5,568人(△51.2%)

・休日 H6: 7,787人 → H17:4,234人(△45.6%)

○商業機能の衰退

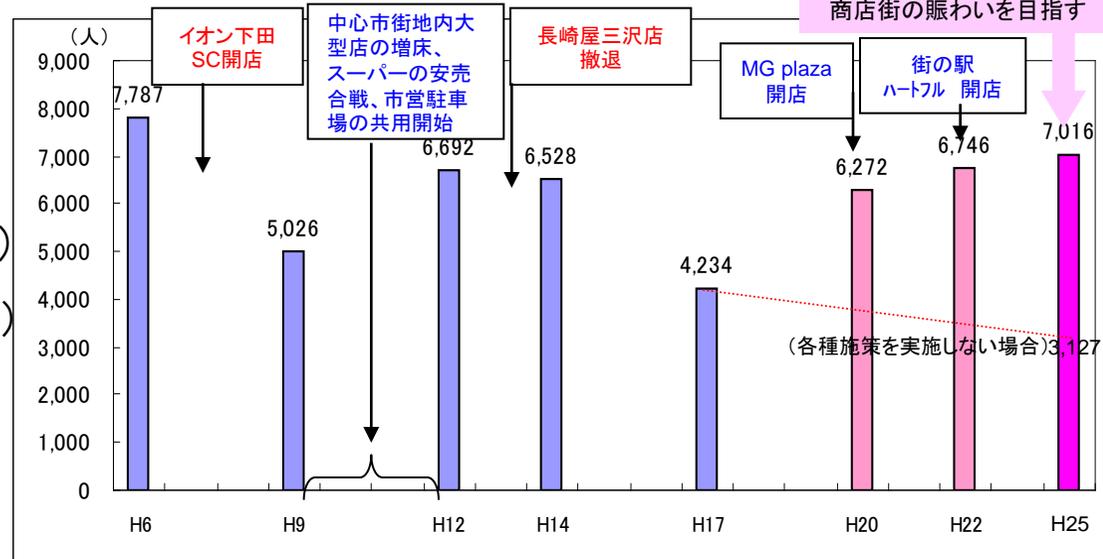
・年間小売販売額 H6 → H16 △3%

・空き店舗率 H5:9.1% → H15 15.8%

【目標】

目標	指標	現況値	目標値 (H25FY)
国際色を愉しめる賑わいあふれる中心市街地	休日歩行者通行量	4,234人 (H17)	7,016人
	年間商品販売額	14,623百万円	15,161百万円
安心して生活し続けられる中心市街地	居住人口	7,538人	7,732人

【歩行者通行量(休日)の動向と数値目標】



MG plazaの整備に代表される『本場のアメリカ』をキーコンセプトに、米軍やNPOと連携した各種イベントの実施等により、アメリカンテイストなライフスタイルを楽しめる中心市街地を形成する。

三沢市中心市街地活性化基本計画の事業概要

国際色を愉しめる賑わいあふれる中心市街地の創出

○**地元商業者**4名がMGインターナショナル(株)を立ち上げ、『**本場のアメリカ**』を満喫できるショッピングモール「MG plaza」を整備。

○NPO法人まちづくりコンソーシアムとの**連携・協働**により、各種事業を展開。



MG Plazaイメージ

1階:インターナショナルフードコート・輸入衣料・輸入食材等各種物販店、コミュニティスペース等
2階:FM放送局、ライブスタジオ、アメリカンバー、アメリカンレストラン等 3階:コンベンションスペース



FM放送局

○区画整理により集約された空き地に、地産地消型生鮮食料品販売店舗、地域ボランティアの活動拠点、ギャラリー等を備えた「**街の駅“ハートフル”**」を整備。

○区画整理事業に際し、「街づくり協定(街なみ景観協議)」を締結し、アメリカ村エリア(紫色部分)の店舗等のデザインは、隣接する基地と協調するアメリカ風に統一した景観づくりを実施。



○英語特区まちづくり事業の一環として、道路標識や通り名看板などの英語表記を実施。



○オレンジ広場やミスビートルドーム等で、NPO・商工会等が市民や米軍人、観光客等を対象とした各種イベントを実施。

○全面協力によるイベントの実施や、アメリカ村エリアに隣接した土地(米軍所有)を、**アメリカ村構想に協調した広場等として整備**するなど、米軍がまちづくりに積極的に協力。

安心して生活し続けられるまちづくり

○市福祉部局・福祉施設・建築相談所の連携により、民間の福祉施設や介護施設を中心市街地内に誘導。

→本計画期間中に民間事業者が**特別養護老人ホームのサテライト型居住施設を5つ整備**予定。

○三沢病院跡地に①**診療所、グループホーム、介護福祉施設等**を整備。

○これとあわせ、老朽化した②**市営住宅**の市郊外部からの移設、③**民間賃貸住宅等**の整備を実施。



公共交通の利便性向上

○高齢者等交通弱者の来街手段として定着している**100円循環バスの運行本数の充実**等を図る。

○バス会社・商店街組合・商工会が**連携**し、商店街のポイントカードの累積ポイント(150円=1ポイント:1ポイントは1円に還元)で**循環バス回数券と交換できる制度**を立ち上げ。

緑線:100円循環バスルート

